

“宇宙を視座に大人が変わる 子どもが輝く 美しい星が生まれる”【子どもと宇宙と未来をつなぐ】

## 2024 年度 KU-MA 通常総会 開催！！



▲総会 開催模様

2024年6月17日(月)プロミティふちのペビル(神奈川県相模原市)会議室で、今年も対面とリモート参加のハイブリッド方式でKU-MA通常総会を開催しました。

当日、会場にお集まりいただいたのは12名、リモート参加8名、書面表決書は82名いただきまして、定足数である過半数を超え、総会が成立いたしました。

会長の挨拶では、昨年度の決算の要因などについて説明があり、より一層の努力を積み重ねなければならない状況であること、今年度の目標、そして会員みなさまへの新規会員のご紹介や寄付金の増加へのご協力をお願いがありました。

司会は吉川理事が務め、議長には菊地理事が推薦され審議がスタートしました。議案に入る前に、ある会員の方から、決算が厳しい状況であり「本当にこの事業計画や予算書が成り立つのか」「新しい会員を必死で集める覚悟がいる」と厳しいお声をいただきました。総会の質疑応答などにつきましては、見開き中ページでご紹介いたします。

総会終了後の交流会では、リモートの方から自己紹介とKU-MAの今後の活動についてご意見などをお話いただきました。

- ・「宇宙の学校®」を主催しているが、さらに地元県内に広げて行きたい。
- ・「いのちの大切さ」を子どもたちに伝えていきたい。
- ・子どもと地域の「宇宙の学校®」に参加し、関わるようになった。など・・・

会員の皆さんからご意見を伺いました。いただいたご意見などは見開き中ページでご紹介いたします。

今回、残念ながら参加できなかった方々もご意見等、事務局までぜひお寄せください。今後の活動の参考にさせていただきます。



▲交流会 開催模様

### 事務局よりお詫びと訂正のご連絡

送付した総会資料第2号議案の資料のタイトルに誤りがありました。2号議案資料に「(案)」がついておりましたが、(案)がないものが正しいものです。大変申し訳ございませんでした。お詫びして訂正いたします。修正後の正しいものを配布いたします。差し替えをお願いいたします。



総会や交流会での質疑応答やご意見(抜粋)

**第一号議案 事業報告**  
**会員** KU・MAを説明する際にJAXAとの関わりは？  
**事務局** 法人としては別組織で、子会社や関連会社ではない。宇宙の学校・事業を共同事業で行っており、宇宙教育活動に関する連携協定を結び連携協力しながら宇宙教育活動を推進している。  
**会員** KU・MAの発展には知名度を上げる必要がある。  
**事務局** やっていること(事業内容)は変わっていないけど、広報活動が弱いのではないかと。ホームページの閲覧数が上がっていても食いつくコンテンツや見せ方の工夫やPRする内容が重要ではないか。  
**会員** 宇宙の学校の開催報告ページやレポートページの閲覧数が多い、イベントなどの事業に結びつくような内容を増やすなど、検討している。  
**第二号議案 決算報告**  
**会員** 特定の寄付で、決算が揺らぐのはとんでもないことで、それが無くなった時に大幅な収入減になるので、そうならないようにしなければならぬ。  
**事務局** 会の存続の危機であるため会員全員で危機意識を持って会員を増やすなど持続していきけるようにしなければならぬ。また、資料(案)と付いているのはどういうことか。

**事務局** 資料のタイトルの(案)については、誤りです。訂正させていただきます。誠に申し訳ございません。  
**第三号議案 事業計画案**  
**会員** 組織図はありますか？  
**事務局** あります。  
**会員** 全国で地区などはありますか？  
**事務局** KU・MA内部で地区担当などはありませんか？  
**事務局** 特にKU・MA内部で地区担当はなく、全国各地の「宇宙の学校」の主催者と調整を行っているが、主催者はKU・MAの支部や支店などではない。  
**第四号議案 予算案**  
**会員** 予算案を見ると人件費が削られているので、何とかプラスにしてあげたい。  
**事務局** 例えば通信費は、送料を相手方に着払いをお願いすれば少し支出を減らせるのではないかと。  
**事務局** 送料は実費を相手方に負担いただいている。コピー機のリース料などの更新の機会に見直しも考えている。  
**ご意見** をいただき、ご質問などにお答えしながら、全ての審議が終了し、承認を得ることができました。参加していただきましたみなさま、書面表決をお送りいただいたみなさま、ありがとうございました。  
**今後** ともご支援、ご協力の程、よろしくお願いたします。

総会後の交流会でのご質問、ご意見等(抜粋)

- ・昨年、宇宙の学校の指導者セミナーや開催に参加した。自分は、KU-MAを紹介する時に、子ども・宇宙・教育団体と紹介している。宇宙天気予報士の育成で、気象予報士向けのオンライン講座等で活動している。夕方のオンライン講座には子どもも参加しやすい。どの地域からも気軽に参加が出来る参加費500円位のオンライン講座を実施してはどうか。
- ・SNS等の活動報告には動画などがあるとより伝わりやすいので、動画なども入れて、積極的にPRした方がいい。
- ・他の団体の活動でクラウドファンディングを活用して、活動資金が集まったことがある。積極的にクラウドファンディングにチャレンジしてはどうか。
- ・企業などに寄付や会員のお願に行った方がいい。
- ・各会員が紹介して会員を増やせば倍になる。

- ・入会したばかりで活動内容をよく理解できていないが、みんなでアイディアを出して、議論して、具体的な計画にしていき、諸問題を解決していくものだと思う。
- ・おとな向けの講座は、きっと需要があるので、収益につながるのではないかと。
- ・昨年度、児童養護施設、フリースクールでの宇宙教育教材を使った活動を行った。この活動を全国に広げたいので、助成金などの活動資金を得て実施していきたい。
- ・視聴覚支援学校の子どもたちや、雨の日教材などで使えるものがあれば活用したい。
- ・収益が上がり黒字になった場合は、カットした人件費(給与)を戻さないのか？→決算賞与で対応する。など

KU-MAのために様々なご意見、ご提案をいただきありがとうございました。みなさまのご意見を参考に、持続可能な組織運営を目指し、事業を進めてまいります。事務局一同

連載4回シリーズ

今日の宇宙の天気は晴れ！

～宇宙の天気を予報する～ 会員 小原 隆博さん



第3回：宇宙の天気を予報する

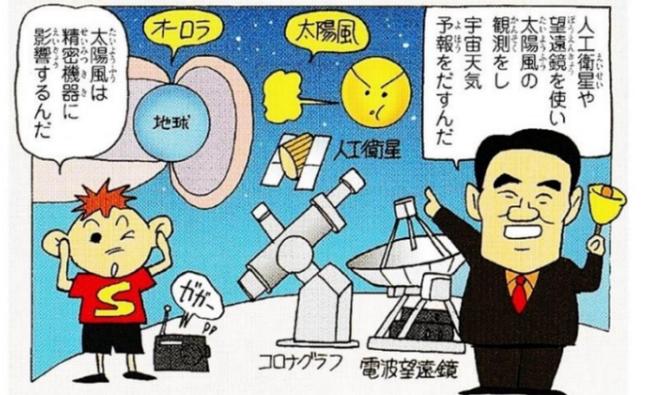
近い将来、宇宙への旅行が可能になると、次のような宇宙天気予報がアナウンスされるように思います。「今日の宇宙の天気は晴れです。安心して宇宙にお出かけて下さい」、あるいは、「今日の宇宙は嵐です。放射線対策をしてください」。

前回お話したように、宇宙の嵐は、宇宙飛行士だけではなく、人工衛星、航空機、通信、測位、そして、地上施設に影響を与えます。世界では1980年代の後半から、宇宙環境情報を、連携して公表して来ました。日本では、情報通信研究機構が毎日発令しています。太陽フレア、太陽放射線、磁気活動、電波の伝搬状況などについて発令しています。世界の十数か国でも毎日発令していますので、ほぼ2時間程度の間隔で、宇宙天気情報は更新されています。米国の宇宙天気予報のユーザー数は数千、日本は米国の10の分の1ですが、宇宙と地球の危険回避に役立っています。

宇宙天気予報は、どうやって作られるのでしょうか？世界の宇宙機関、研究機関、大学、公共天文台などが、太陽や宇宙環境の状況を観測して、観測データを公開しています。

これらのデータを分析し、今後の宇宙の天気を予測しますが、近年では、太陽や太陽風の観測データをインプットして数値シミュレーションを行うといった、数値宇宙天気予報が実現しています。観測データも数値計算データも数字ですから、これらを予報文にする作業(ガイダンス)が必要です。長い間の予報担当者の経験で、予報文が書かれます。公表された宇宙天気予報の検証も同時に行われ、予報精度の向上につながっています。

今後、宇宙の利用が進むと、もっといろいろな宇宙天気予報が必要になってくると思います。そうしたニーズに応えられるのが、宇宙天気予報士です。日本では世界に先駆けて、宇宙天気予報士の創設に向けて頑張っている状況です。



図題：宇宙天気予報は、宇宙の観測データをもとにしてつくられています

最終回 第4回：宇宙の嵐への対策

宇宙へ出かける時は宇宙天気予報を忘れずに

【プロフィール】

小原隆博 おばらたかひろ 東北大学名誉教授、放送大学客員教授、KU-MA 会員  
 文部省宇宙科学研究所助手、情報通信研究機構グループリーダー、  
 宇宙航空研究開発機構グループ長、東北大学理学研究科教授を歴任。  
 専門は宇宙天気予報、特に地球放射線帯(バンアレン帯)変動予測。  
 田中館賞受賞。理学博士(東北大学)

